

青森県主任介護支援専門員更新研修 事前課題

-提出事例について-

本研修は主任介護支援専門員として、地域や職場の介護支援専門員を指導した実践を分析・評価することが目的です。

実践指導事例は研修日程の1日目から7日目までの演習で使用しますので、主任介護支援専門員として他の介護支援専門員へ指導・支援した事例（自身の指導内容を振り返りたい事例）について、以下のとおり「提出事例希望調査票」の提出をお願いします。

1. 提出事例について

- (1) 別紙3「提出事例希望調査票」により、希望する事例の演習科目を**3つ以上選択**していただき、その中から研修実施機関である青森県介護支援専門員協会が決定したカリキュラムの1事例を提出してもらいます。（別紙3「提出事例希望調査票」提出先：青森県高齢福祉保険課）
- (2) 事例の決定通知については、高齢福祉保険課からの受講決定通知と共に送付いたします。
なお、事例の作成は、事例決定通知を確認後にお願いします。

2. 留意事項

指導事例を提出できない場合は受講することができませんので必ず提出して下さい。なお、ケアプラン点検や単発の事例検討における指導等、一時的な関わりでの指導は対象としませんので、ご注意ください。指導は事業所内だけでなく地域の介護支援専門員の指導も対象になります。

事例提出について不明な点は、青森県介護支援専門員協会事務局（017-721-3731）までお問い合わせください。

3. その他

今回のZOOMによる演習を円滑に進めるにあたり、受講決定通知の際に受講者の中からファシリテーターを選定させていただきますので、御協力くださるようお願いいたします。なお、演習開始前に、ファシリテーター向けのZOOMの操作研修等を予定しています（日程については、改めてお知らせします）。

【裏面もあります。】

4. 事例について

下表のA～Gのいずれかの内容に該当する事例、もしくは複数のテーマに該当する事例を1事例にまとめて提出してもらいます。

	演習科目	キーワード
A	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	リハビリテーション（口腔リハビリテーション含む）、機能訓練、環境整備（住宅改修、福祉用具の活用、ボランティア等）、日常生活動作の改善、筋力低下改善、日常運動の強化、閉じこもり症候群の予防、廃用症候群の予防、機能強化ロボット使用 等
B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	看取り、訪問看護制度、医療保険・介護保険、退院前カンファレンス、疼痛緩和、緩和ケアチーム、生活機能低下における対応、リビングウィル、デスカンファレンス、主治医との連携、居宅療養管理指導の活用、緊急時の対応、グリーフケア、多職種による連携 等
C	認知症に関する事例	認知症の理解、環境変化における対応、BPSD への対応、地域住民との連携・地域の社会資源の活用、認知症見守り地域ネットワーク構築、多職種との連携、認知症・精神疾患における医学的・心理的な状況、認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員、認知症疾患医療センターとの連携、認知症に対する療法的アプローチ 等
D	入退院時等における医療との連携に関する事例	入退院時の場面に応じた各関係機関との連携、入退院支援、入院における介護負担に関する事、入退所におけるコンプライアンスに関する事、高齢者に多い入院を伴う疾患・感染症、退院前カンファレンス 等
E	家族への支援の視点が必要な事例	家族に疾患がある場合の対応、介護者も介護を要する場合の対応、利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応、家族が本人の生活機能に強く影響する場合の対応、家族間の関係性への対応、レスパイトケア、介護離職の可能性、仕事と介護の両立の支援、家族の援助が受けられない、複数の要介護者がいる、介護放棄、介護と育児の両立、家族に対する地域の社会資源の活用等
F	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	地域支援、社会資源の活用、社会資源との連携（警察署、消防署、保健所、福祉事務所、病院、行政機関、地域包括支援センター、町内会長、民生委員、地域住民、ボランティア団体、社協、地域支援コーディネーター等）、地域特性と社会資源の関係、生活保護制度、成年後見制度利用、障害者サービス、虐待事例、施設ボランティア 等
G	状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	施設サービスの対応、介護保険施設、ケアハウス、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型サービスの対応、認知症対応型共同生活介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）、小規模多機能型居宅介護・地域密着型通所介護などの活用、その他介護保険サービスの活用 等